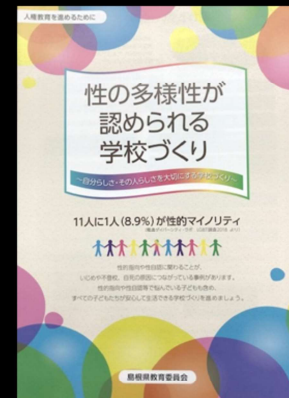


# 性の多様性が認められる学校づくり①

## 性のあり方・考え方

島根県教育庁人権同和教育課



みなさん こんにちは

性の多様性が認められる学校づくり①

性のあり方・考え方 編

島根県教育庁人権同和教育課よりお伝えします。

この動画を視聴される際に、次の2つをご準備ください。  
1つめは、画面にあるリーフレットです。このリーフレットは、島根県教育庁人権同和教育課のホームページからもダウンロードできます。  
2つめは、レジュメです。この動画の画面に出てくるものを反映していますのでご活用ください。

それでは、「性のあり方・考え方」について 話を始めます。



## ◎ねらい

- 1 性は多様であることを理解する
- 2 性の多様性が認められる学校づくりを進める必要性を理解する



この動画のねらいです。

1つめは、性は多様であることを理解すること、  
2つめは、性の多様性が認められる学校づくりを進める必要性  
を理解することです。●

## ◎流れ

- 1 性のあり方・考え方
- 2 性の多様性が認められる学校づくりは、なぜ必要なのでしょうか？



この動画の流れです。

まず、性の多様性とは、どのようなことなのでしょうか？性のあり方・考え方について話します。

そして、性の多様性が認められる学校づくりは、なぜ必要なのでしょうか？

この2点についてお話しします。●

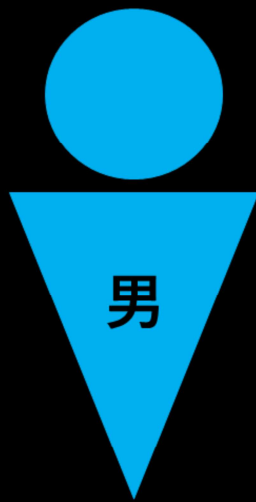
# 1 性のあり方・考え方



それでは、まず、性のあり方・考え方についてです。●

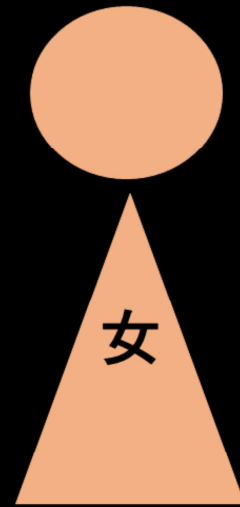


みなさんは「性」をどのようなものにとらえていますか？



からだの特徴の違い

男女の2つのみに分けられる



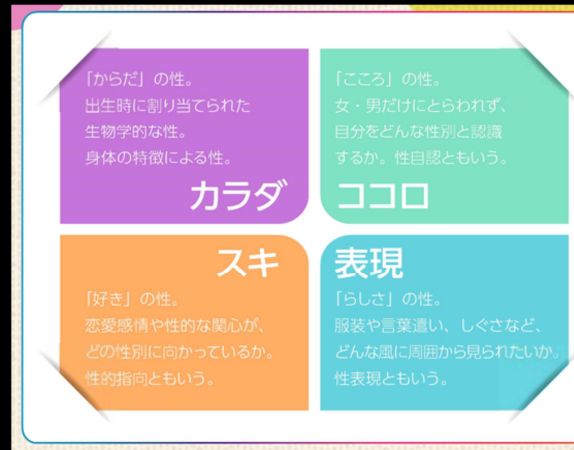
みなさんは、性を、どのようなものにとらえていますか？

●からだの特徴の違いから、一般的には●男女の2つのみに分けられるものにとらえられがちですが、その2つだけではありません。

性は本来、多様なものです。●

## ◎性は多様なもの

### ○性の構成要素



**性には複数の要素がある**



それでは、性は多様なものであることについてお話しします。  
リーフレットの裏表紙をご覧ください。画面に示したようなところがあります。

(間をとる) それでは進めます。

性は、大きく4つの構成要素からとらえることができます。その4つを紹介します。

- 1つめは、カラダの性です。これは出生時に割り当てられた生物学的な性で、身体の特徴による性です。
- 2つめは、ココロの性です。これは自分の性別をどのように認識するか、という要素です。性自認とも言います。
- 3つめは、スキの性です。これは、恋愛感情や性的な関心が、どの性別に向かっているかということです。性的指向とも言います。
- 4つめは、表現の性です。これは、服装や言葉遣い、しぐさなどどんなふう周囲から見られたいかというものです。性表現とも言います。

性は、カラダの性のみと思われがちですが、●複数の構成要素があります。●

## 性のあり方の組み合わせ

カラダ



2通り



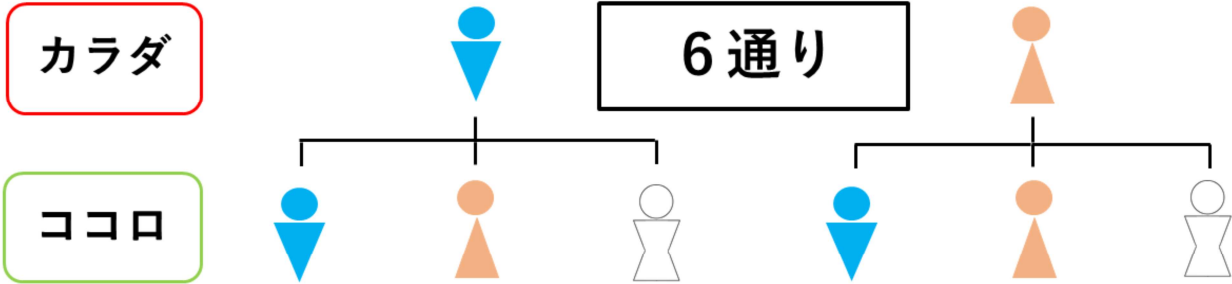
 = 男  = 女

それでは、画面を見てください。性のあり方の組み合わせを示してみます。

まず、からだの性について、男女を分けて示しています。ここでは、男性、女性の●2通りです。

この図に、さらに、こころの性を男女などに分けて、組み合わせを示してみます。●

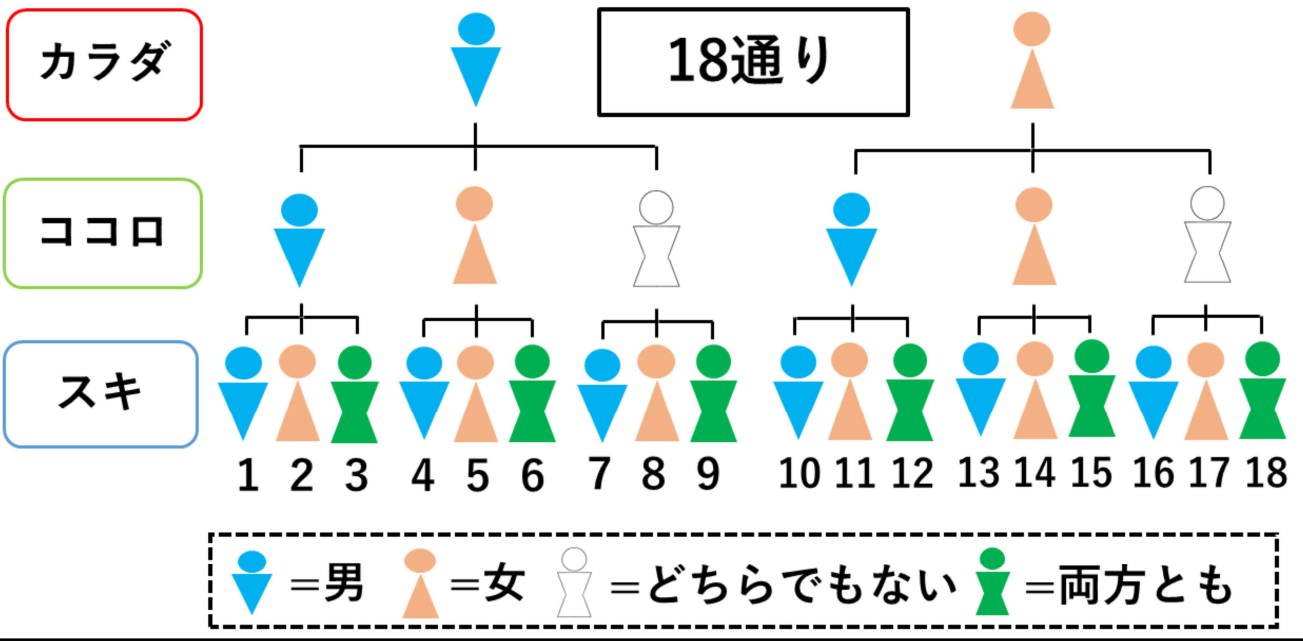
## 性のあり方の組み合わせ



● = 男   ● = 女   ○ = どちらでもない

ココロの性には、男性と女性、そして、男女どちらでもない、という人もいますので、その場合も入れて組み合わせを示しています。そうすると、性のあり方は全部で●6通りになりますね。さらにこの図に、スキの性も入れて示してみます。●

# 性のあり方の組み合わせ



スキの性には、男性と女性、男女両方とも好きになるという人もいるので、その場合も入れて示しました。

こうしてみると、1~18まで、性のあり方は●18通りあります。

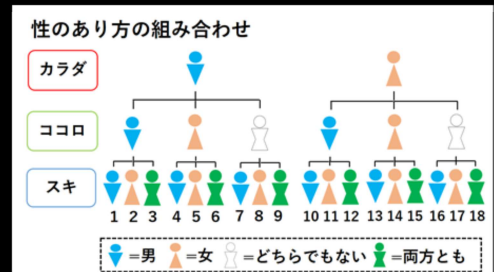


# 性のあり方の組み合わせより

2通り



18通り



性は多様なもの



はじめに、●カラダの性であらわしたときは、男性・女性の2通りでした。ところが、ココロの性やスキの性を加えて示すと、●18通りになりました。これを比べると、●性は多様なものだと受けとめられます。●

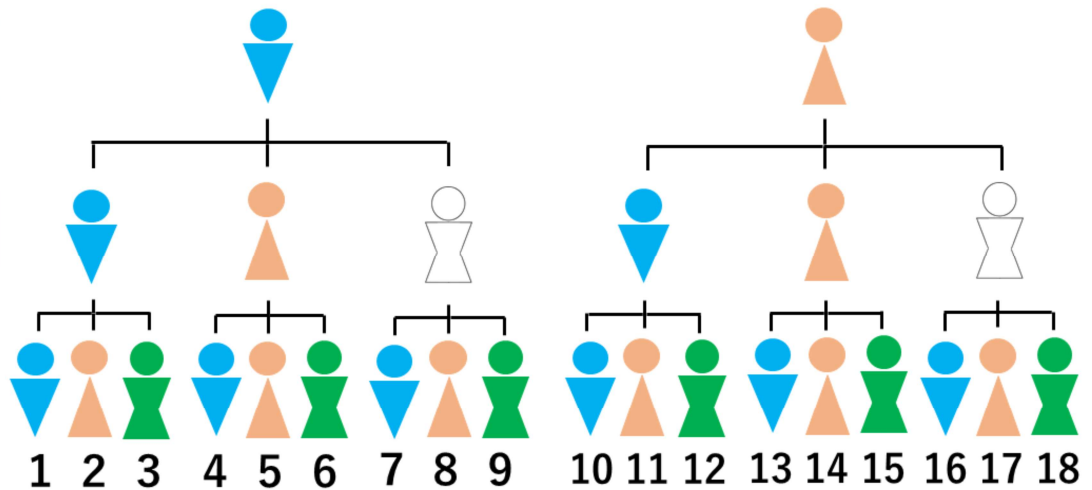
# 性のあり方の組み合わせ

カラダ

ココロ

スキ

表現



さらに多くの組み合わせ

ここまで、性のあり方を組み合わせで示してお話してきました。では、性のあり方はこの18通りですべてなのでしょうか？

(ま)

この組み合わせには、まだ、●表現の性を入れた組み合わせが示されていません。表現の性の組み合わせを入れると、18通りよりも●さらに多くの組み合わせが考えられ、より多様になります。●

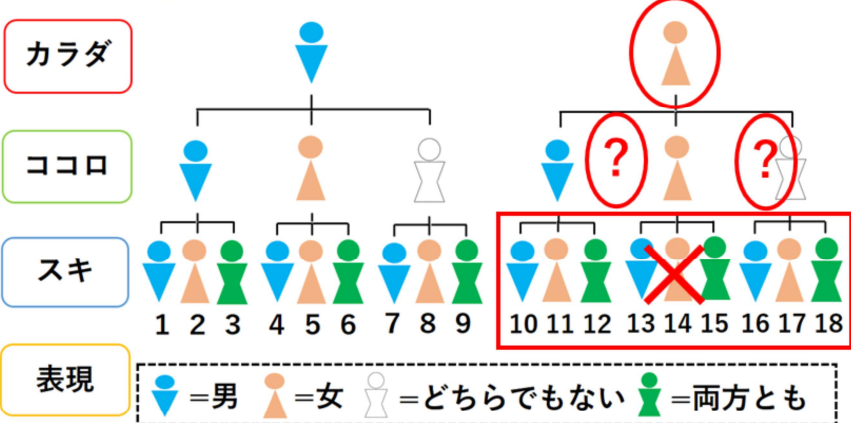
# 次に示すような人は、図のどこにあてはまる？

カラダの性  
女性

ココロの性  
女性・男性の  
揺らぎがある

スキの性  
なし

## 性のあり方の組み合わせ



この図にはあらわされていない



それでは、これから画面に示す人は、組み合わせの図では、何番にあてはまると思いますか？

カラダの性は●女性、図では●ここですね。次にココロの性は、●あるときは女性でありたい、また別のときには男性でありたいというように、時によって違う揺らぎがある、です。これは、図ではどこでしょうか？どちらでもあるとなると、●ここでしょうか？いや、それとも●どちらでもないに近いでしょうか？ちょっと判断しづらいですね。それでは、スキの性は●誰にも恋愛感情をもたない、なし、という人です。●スキの性の選択肢にどちらでもない、は●ありません。

もうお気づきでしょうか？左に示した人は、●この図にはあらわすことができません。つまり、あてはまる場所がないということです。●



## 性のあり方の組み合わせ

カラダ

ココロ

スキになるのは、  
男性、女性  
どちらでもない

ココロの性は  
日によって異なる、  
揺らぎがある…

ココロの性は  
どちらかと言う  
と女性に近い…

表... 7 8 ... 18 ... どちらに多くの組み合わせ

少しでもわかりやすくしようと思い、このような組み合わせの図を示しました。しかし実際は、先程例に示したように、●  
「ココロの性は日によって異なる揺らぎがある」、とか、●  
「スキになるのは男性、女性どちらでもない」とか、他にも、  
●「ココロの性はどちらかと言えば女性に近い」などといったように、はっきりと「何番になる」と判断できない場合の人もいます。●

性のあり方を、組み合わせの図で示すことには限界がある



それぞれの要素の組み合わせでは、すべての性をあらわしきれない



ですので、性のあり方を、組み合わせの図で示すことには限界があるということです。

言い換えると、●それぞれの要素の組み合わせでは、すべての性をあらわしきれないということです。

## ◎ここまでのまとめ

○性は、カラダの性以外にもさまざまな要素がある

○それぞれの要素の組み合わせでは、すべての性をあらわしきれない



性のとらえ方（考え方）

一人一人顔や性格が違うように、性のあり方も多様であり、人それぞれである



図を使って説明してきましたが、ここまでの内容をまとめます。

●性のあり方には、カラダの性以外にもさまざまな要素があります。

●それぞれの要素の組み合わせでは、すべての性をあらわしきれないということです。

こうしたことから、●性というものは、私たち一人一人、顔や性格が違うように、多様であり、人それぞれである、ととらえることが大切です。●

## ◎LGBT

**L**esbian（レズビアン） 女性の同性愛者

**G**ay（ゲイ） 男性の同性愛者

**B**isexual（バイセクシュアル） 両性愛者

**T**ransgender（トランスジェンダー）  
カラダの性とココロの性が異なる人

→それぞれの「人」を示す語の頭文字

→性的マイノリティの総称のひとつ



性のあり方に関係して、LGBTという言葉が、新聞やテレビ等でよく使われています。

ご存知の方もいるとは思いますが、この言葉は、Lはレズビアン（女性の同性愛者）、Gはゲイ（男性の同性愛者）、Bはバイセクシュアル（両性愛者）、Tはトランスジェンダー（カラダの性とココロの性が異なる人）を●示す語の頭文字を組み合わせた言葉です。●性的マイノリティの総称の一つです。

## ◎SOGI (ソジ・ソギ)

### Sexual Orientation

性的指向…誰を好きになるか・ならないか

### Gender Identity

性自認…自分の性別を何と認識するか・しないか

→すべての人の性に着目した表現



もうひとつ、LGBTとは別に、エス・オー・ジー・アイと書いて、ソジまたはソギと読む表現があります。

ソジとは、性的指向（誰を好きになるか・ならないか）と性自認（自分の性を何と認識するか・しないか）を表す英語の頭文字を組み合わせた表現です。

SOGIは、性的指向・性自認という、誰にも関係する言葉ですので、●すべての人の性のあり方に着目した表現です。



## ◎ LGBTとSOGI

**LGBT** それぞれの「人」を示す語の頭文字

→特定の人に関する問題

**SOGI** すべての人の性に着目した表現

→すべての人に関すること

**性の多様性**→すべての人に関すること、誰もが当事者という意識が大切



先程の2つの言葉を比べて確認してみます。

●LGBTは、特定の性のあり方の人々を示す語の頭文字をつなげた表現であるため、性的マイノリティの人々、つまり特定の人だけに関する問題ととらえられやすい表現です。

●一方、SOGIという表現は、性的指向・性自認という誰にも関係することをあらわしており、性的マイノリティの人々だけでなく、すべての人に関わること、ととらえられる表現になります。

LGBTという表現がいけないというわけではありません。SOGIという表現に示されているように、●性の多様性に関することは、特定の人に関する問題というとらえでなく、すべての人に関わること、誰もが当事者であるにとらえる意識が大切です。●

## 2 性の多様性が認められる学校づくりは、なぜ必要なのでしょう？



ここまで、性のあり方や考え方についてお話ししてきました。性の多様性は、学校とどのような関係があるのでしょうか？学校で、性の多様性が認められることが大切であることについて、話を進めていきます。●

本来、性は多様なもの



男女2つのみの区別

〈例〉 しくみ 制度 設備

習慣 考え方 雰囲気など



性というものは、本来多様なものであることをお話ししました。

しかし、●男女2つのみを基準とした区別が、社会全体でも当たり前のようになされてきました。

●例えば、結婚や書類への性別記入などのしくみや制度、トイレや更衣室などの設備、さまざまな習慣や考え方、雰囲気などが挙げられます。

学校においても、男女別を基準とするもの・ことがあがるのではないのでしょうか？●



**11人に1人（8.9%）が性的マイノリティ**  
(電通ダイバーシティ・ラボLGBT調査2018より)

**30人学級ならば、  
学級に2～3人はいるかもしれない…**



リーフレットの表紙にも記していますが、電通ダイバーシティ・ラボLGBT調査2018によると、性的マイノリティの人の割合について、11人に1人、8.9%とされています。

この11人に1人という割合を、学校にあてはめて考えてみるとどうでしょう？

●例えば、30人学級ならば、学級に2人～3人はいるかもしれないということになります。●

## 性的指向・性自認について、悩みや不安をもつ児童生徒がいるかもしれません

私って病気なのかなあ？

打ち明けたら、友達が離れていってしまうかも？

変な子だと思われてないかなあ？



しかも、中には、性的指向や性自認について、次のような悩みや不安をもつ児童生徒がいるかもしれません。  
例えば、●からだの性とところの性に違和感があって「私って病気なのかなあ？」と不安をもっていたり、●からだの性とは異なるしぐさから、私って「変な子だと思われてないかなあ？」と感じていたり、●自分の性のことを「打ちあけたら、友達が離れていってしまうかも？」と思っていたりするなどが挙げられます。●

30人学級に、  
性的指向・性自認について悩みや不安をもっている児童生徒が  
2～3人はいるかもしれない…



性的指向・性自認について  
→児童生徒へ配慮や支援を進める  
性の多様性が認められる学校づくり



単に30人の学級に性的マイノリティの児童生徒が2人～3人いる、というだけでなく、30人の中に、先程紹介したような●性的指向・性自認について悩みや不安をもっている児童生徒が、2人～3人いるかもしれないということです。みなさんの学校にもいるかもしれません。●学校で、性的指向・性自認について、児童生徒へ配慮や支援を進める、●性の多様性が認められる学校づくりを進めることが大切です。●

「LGBT当事者」は、いじめ被害、不登校、  
自死を考えたこと等の経験割合が高い



**見方を変えてみると**

いじめ、不登校、自死等の原因に、性的指  
向・性自認に関する悩みや不安が関係して  
いるかもしれない



宝塚大学、看護学部教授の日高庸晴さんの調査によると、LGBT当事者は、そうでない人に比べて、いじめ被害や不登校、自死を考えたことなどの経験割合が高いとされています。このことから、どんなことが言えるのでしょうか。

このことは、●見方を変えてみると、●いじめや不登校、自死などの原因に、性に関する悩みや不安が関係しているかもしれないということです。●

性の多様性が認められる学校づくりを進めることは、いじめ防止、不登校予防、自死予防などにつながる

誰もが安心して生活できる学校づくり  
につながる



ですので、性の多様性が認められる学校づくりを進めることは、いじめ防止、不登校予防や自死予防にもつながっていくということにもなりますし、●誰もが安心して生活できる学校づくりにつながります。●

## 性の多様性が認められる学校づくりの必要性

- ◎性的指向・性自認について、悩みや不安をもっている児童生徒がいるかもしれない  
→配慮や支援を進めることが大切
- ◎いじめ防止、不登校予防、自死予防等につながり、誰もが安心して生活できる学校づくりにつながる



それでは、ここまでの話をまとめます。

性の多様性が認められる学校づくりの必要性についてです。

●性的指向・性自認について、悩みや不安をもっている児童生徒

がいるかもしれません。配慮や支援を進めていくことが大切です。

●性の多様性が認められる学校づくりは、いじめ防止や不登校予

防、自死予防等につながりますし、誰もが安心して生活できる

学校づくりにつながります。●

性の多様性が認められる学校づくりを進めるために、教職員にどのようなことができるのか？

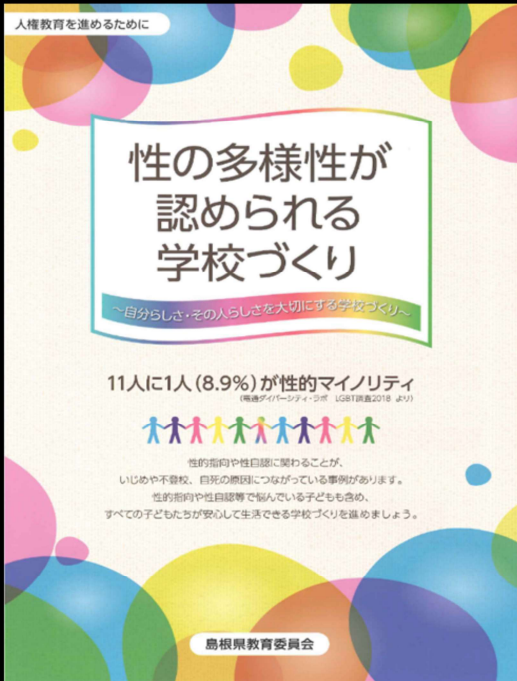
性の多様性が認められる学校づくり②  
教職員にできること編 に続きます

最後に、リーフレットについて紹介します



以上で、性の多様性が認められる学校づくり①性のあり方・考え方編を終わります。この動画の内容をふまえ、性の多様性が認められる学校づくりのために、教職員にどのようなことができるのか？については、シリーズ②教職員にできること編に続きます。

●最後に、リーフレットについて紹介します。●



各学校の実態に合わせ、  
見直しや取組のヒントに

- ① 性の多様性に関わる悩みや  
思いと支援・配慮
- ② 性の多様性に関する  
基礎知識

まずは教職員の理解を



各学校の実態に合わせて、学校で配慮や支援について見直しを  
したり、新たな取組を始めたりするときのヒントになればと思  
い、作成しました。

●リーフレットの中面は、悩みや思いの一例、対応の一例、支  
援のための考え方などを示しています。  
裏表紙には、今回お話した、性のあり方などの基本的な知識に  
ついてまとめています。

●このリーフレットをもとに、まずはみなさん教職員の理解を  
進めていきましょう。

これで動画を終わります。ご視聴ありがとうございました。●